

# 新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPU

11

November 2015  
No.753



『We're Izumozakids!』(出雲崎町)

夏休みの「出雲崎ッズ」は、英会話に取り組んでいます。背面にあるポスターは参加児童の手作りです。

## 4~5 特集 県公民館大会 事例発表要約

CONTENTS

- 2………… トピックス 全国公民館研究集会・鳥取大会開催される
- 3………… 視 点 「市民協働による公民館づくり」 胎内市中央公民館長 池田 渉  
ひ ろ ば 「実行委員長のひとりごと」 見附市公運審委員 野本 拓臣
- 6………… 実践記録シリーズ 土曜学習教室「七社塾」～地域の子どもを地域で育てる～ 新発田市加治川地区公民館
- 7………… サークル交流 「個性満開・描く楽しさ♪」(阿賀町)／「懐かしのエレキサウンドをもう一度」(阿賀野市)  
素 顔 拝 見 小沼 香奈さん(湯沢町)／小林由紀江さん(糸魚川市)
- 8………… お元気ですか 「ハーモニカの音色を楽しむ」 加茂市・樋口 良蔵さん

TOPICS

# 全国公民館研究集会・鳥取大会開催される

事務局長 田原 理

本年度の全国大会が10月15日(木)16日(金)に鳥取市で開催されました。新潟からは事務局長が参加しましたので、大会の様様をレポートします。

## 1 2千人の参加者

全国からの参加者が10年ぶりに2千人にのびりました。会場が三階席まで埋まり、盛大な大会となりました。



## 2 公民館の歌 大勢の手話

開会式で歌われる「公民館の歌」を、ステージ前列に整列した鳥取市公民館職員15名が手話で行いました。全員の手話が揃っていて練習の成果と初めての試みに新鮮さを感じました。

## 3 記念講演

開会式直後に記念講演が行われました。鳥取市はコミック「名探偵コナン」の作者の出身地で、鳥取空港も愛称が「鳥取砂丘コナン空港」になっている、関係？で講師が漫画家で京都精華大学学長の竹宮恵子氏が行いました。



講演テーマは「変える力を求めて」

- ・ 変えることは必ず出来る
  - ・ 変えることを決めることの方が大事
  - ・ 何をさして変えたというのか
  - ・ 変えることそのものにとらわれない
  - ・ 得たものを大切に
  - ・ 夢を持ち理想を持つことの強さ
- などの言葉が印象に残る良い講演でした。

## 4 パネルディスカッション

コーディネーターに実力者・牧野 篤(東大教授)、パネリストは島根、鳥取、愛媛県からの3人と、文科省社会教育課長・全公連会長が加わり中身の濃い70分でした。



牧野 篤氏



左 文科省 谷合課長  
右 全公連 石川会長



事例発表の3人

3人の事例発表は「防災に強い町」「人をつなぐ公民館」「魅力ある取組事例」をそれぞれ特徴の石川会長が「立派な発表に勇気づけられた」と賞賛しました。

## 5 分科会

5分科会があり、「求められる公民館」「連携」「高齢者」「地

域づくり」「人権尊重」「協働の町づくり」とテーマが魅力的でしたが、すべてに参加するわけにも行かず、「高齢者の生きがいづくりと公民館」に参加しました。山梨県都留市公民館の取組が素晴らしく、久々に模範的公民館職員に出会いました。指導の三浦清一郎氏(月刊誌「風の便り」編集長の助言がわかりやすく、いつか新潟県に講演等で招聘したいと思いました。



都留市 杉田氏

\*

全国公民館研究集会は、来年度から各ブロック大会が全国大会を兼ねることになっています。来年は、関プロ神奈川大会が全国大会を兼ねます。すでに開催準備が進んでいます。新しい発展に期待したいところです。(田原)



### 「実行委員長のひとりごと」

見附市公民館  
運営審議会委員  
野本 拓臣



ライブイベントは簡単に開催しようと思えば出来ず。舞台を用意し出演者を募り演奏して頂き解散すれば無事終わります。しかし毎年3月に開催している音楽の祭典『ライブイン見附』は、わざわざその年の出演者が実行委員となり、1月～3月の本番、撤収までを一連のイベントとしています。その「わざわざ」がこの事業の肝だと僕は

思っています。 「便利」と引き換えにSNSがもたらしたコミュニケーションの簡素化や希薄化が不安視される昨今、10代～50代の参加者が3ヶ月間ひとつの事を成そうとまとまります。 参加地域も年々拡がり、県内の遠方からの出演者も少なくありませんが、22年前から続くこのスタイルは、そんな今だからこそ重要な役割を果たしている

と感じています。 「ライブ」＝「軽音楽」と表現されることも事実ですが、こうして公民館に集まり世代を超えて同じ目標に向かうことで結ばれる繋がりには、決して「軽い」ものではありません。 来春3月に23回目を迎える『ライブイン見附』はまた新しい人と人との繋がりを生み、体温を感じ合うライブイベントを創っていきます。

## 視点



胎内市中央公民館長  
池田 渉

### 「市民協働による公民館づくり」

当市は中条地区と黒川地区に公民館が2館設置され、生涯学習の場、教養の向上や健康増進、生活文化の振興を担う役割を果たしてきました。

現在は主に各種団体の活動の場として利用されていますが、利用者の多くは高齢となり、会員の減少傾向が見られ、各団体においては新規会員の確保のため公民館と連携した体験教室の開催などに努めています。 一方、公民館でも利用者の減

少が見込まれる中、その改善に向けた取り組みが必要となってきました。しかしながら、現行事業の継続や学習相談、施設管理等の業務を行いながら新規利用者向け事業の企画は、行政改革や予算、人員体制の見直しを余儀なくされた今では困難な状況です。

これからも生涯学習の場として公民館を利用していただくためには、市民参画による事業の企画運営を検討する必要がありますと感じています。既に他の自治体では、取り組みが進められ成果を上げていますが、当市においても住民が参画することので、

求められている学習ニーズの把握や、社会の変化に対応する課題解決に向けた事業展開が可能となり、住民の学習意識向上と、これまで公民館を利用していない市民に利用を促すことができそうです。これにより、公民館が生涯学習や交流の場として活用され、人と人が交流し、地域コミュニティ形成に向けた支援に繋がると思います。

地域の公民館として、市民参画に向けた協働の体制づくりの取り組みが公民館に求められていると深く感じています。

## 掲示板 HOT NEWS

### 鳥取市全国大会番外編 因幡の傘踊り



大会オープニング



鳥取駅

鳥取市の全国大会は今号トピックスで紹介しましたが、大会ではオープニングアトラクションとして鳥取県指定無形文化財「因幡の傘踊り」が演じられました。美しい傘と保存会の皆さんの息のあった踊りに大きな拍手が送られました。

鳥取駅では、特急列車が着くたびに、地元商工観光会の皆さんが改札口前で「傘おどり」で歓迎します。



# 特集

## 県公民館大会

## 事例発表要約

先月10月号では、県大会の大会事務局の総括を掲載しました。今号では、続いて3人の事例発表を要約して掲載します。事例発表の掲載については、かつて、県大会後に発行していた「大会記録集」を平成23年度から廃止していることから、大会記録を保存するという理由もあり毎年掲載しています。

発表は、大会主題「地域連携を進める公民館活動」より多様な主体の連携・協働を進める取組に沿って、各人が約25分の持ち時間で行われました。その後、発表に対する質疑応答がありました。

\*掲載順は発表順と同じ

### 〈事例発表Ⅰ〉

「上南地区公民館と地域連携」

糸魚川市上南地区公民館長 伊藤 幸雄

#### 1 公民館は住民の館

(1) 職員が不在でも住民が自由に利用できる「開放式」をとっている。

(2) 事務室ドアも開放し、住民が入りやすい環境を意識的に作り出している。

(3) 事務室内で世間話をしてその中から地域の情報も得る。

#### 2 文化の発信

(1) 図書の実践

住民寄贈の図書、保育園や廃校した中学校や「卒業記録アルバム」を収納。郷土の歴史コーナーも充実している。能生図書館の移動図書を利用している。

(2) 上南大学教養講座の開設

絵画教室、地元「天井絵」絵師の水彩画教室、地元の名人を講師に「男の料理教室」「女の料理教室」「こんにやく作り」「山菜料理」「障子貼り」「網戸張り」「デジカメ」などの教養講座を開設している。

(3) 家庭教育学級の活動  
全5回の学級活動。各回の講師は専門家。

(4) ジオパーク研修遠足の実施  
地元フオッサマグラ学芸員の案内で、研修遠足を実施。古道から散策道2kmの遠足。

(5) 小学生対象「学習会」と「あそびまじか」の実施  
地元の元高校教師、保育士、児童館職員、読み聞かせ・手話の特技を持つ人ら子育て支援グループ「楽遊会」を結成して、指導者に。10年間の実績がある。

(6) 囲碁教室と大会を実施

(7) 健康づくり  
健康教室を実施している。市職員が高齢者向けの健康教室の指導者に。

(8) スポーツ教室・スポーツ大会を実施している。  
糸魚川市生まれの「スポレック競技」を週1開催。「スポレック愛好会」に発展している。

(9) ダンスの専門家移住を機会にダンス教室を実施。「キッズチーム」「ママダンスチーム」「レディーズチーム」が誕生している。

(10) 各種スポーツ大会を実施している。グラウンドゴルフ大会、ゴルフ大会、輪投げ大会が盛況である。



#### 4 その他

娯楽の提供として、「上南ふれ愛」三大祭、ひな祭り芸芸大会を実施して地域あげてのイベントになっている。今後は、地域づくり協議会と協働し、元気で住みよい、誇りを持てる上南地区を目指したい。

### 〈事例発表Ⅱ〉

「まちなかキャンパス長岡」が目指すもの

〜きになるがここにある〜

長岡市生涯学習文化課

まちなかキャンパス室長 多田 博則

#### 1 立ち上げまでの経緯

中越地震後の都市再生計画の中で、郊外に分散した都市機能のまちなか回帰の促進と防災性、利便性の高い中心市街地を創造することを目標に、まちなかに「学び」と「交流」の拠点施設を整備することになった。市内3大学1高専、市民、行政で構成する「まちなかキャンパス長岡運営協議会」を設置し、平成23年9月に「まちなかキャンパス長岡」がオープンした。

副題の「きになるがここにある」は、3大学1高専や高校生のみならずからキャッチフレーズを募集し、「講座が気になる」「木になり実をつけて」という思いが込められている。

#### 2 まちなかキャンパス長岡の事業について

(1) 施設の貸し出し

大小会議室6、創作交流室1、多目的スペーススタジオ2、ダンス等スタジオ2の貸し出し。営利以外は無料貸し出し。他に、展示ギャラリー、インターネット利用コーナー、音楽鑑賞コーナー、談話コーナー、ミーティングコーナーがあり様々な利用形態がある。

(2) 講座の企画・運営

① 講座の企画・運営は、「まちなかキャンパス長岡運営協議会」が行っている。

顧問―学長―役員会―運営委員会

- ―広報
- ―まちなかカフェ
- ―まちなか大学・大学院
- ―まちづくり市民研究所
- ―学生交流イベント
- ―産学交流事業

委員として、3大学1高専の学生が参加している。

- ②まちなかボランティアスタツフ
  - 講座の企画・運営に市民がボランティアスタツフとして参加している。

- ア 主催講座の運営補助
- イ 広報活動
- ウ 鑑賞コーナーのレコード磨き
- エ ボランティアの企画講座立案
- オ カフェ、大学の講座提案
- カ 市民プロデュース講座の1次審査

3 講座

- (1) まちなかカフェ  
コーヒーを飲みながら、食・芸術・文化・歴史やビジネスなど気軽に参加できるスタイルの講座で、年間50講座開催している。

- (2) まちなか大学  
4〜5回の連続講座。受講生にまちなかキャンパス長岡学生証を発行。提示で市内の100店舗でサービスを受けられる。

- (3) まちなか大学院  
大学修了者のステップアップ課程として開講。定員10名と少人数で実践的な学習スタイルをとっている。

- (4) こども講座  
小学生対象。こどもカフェ(単発)とこども大学(連続)がある。
- (5) 市民プロデュース講座  
市民が企画・運営する講座。年間10回開催。

- (6) その他  
ボランティア企画講座、企



業・団体プロデュース寄付講座、出張街中カフェ講座、米百俵講座、まちづくり市民研究所、分校事業など多数の講座を開設している。

「学び」「交流の拠点施設として、また、だれでも気軽に学べる施設として、長岡が誇る米百俵の精神」を基本に、市民協働の担い手となる人材育成を目指していきなす。

事例発表Ⅲ

「地域づくりの役割をサポートする公民館」  
地域「コミュニティ」の推進と地域の課題解決に向かって、新潟市中央区公民館主査 新田 直子

1 新潟市の公民館事業の基本方針

1 番目に「学びを通じた地域の絆づくり」と「コミュニティ活性化」を掲げ、重点事業として「地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業」をとりあげている。その趣旨は、

- (1) 公民館が地域「コミュニティ協議会等」地域団体と連携・協力することにより、地域住民自ら地域課題や地域の宝を発見し、その課題解決を担う人材を発掘・養成する。
- (2) 関係する地域団体や学校等とのネットワークづくりを通じて、地域「コミュニティ」活動の活性化、地域づくりを促進する。

2 地域「コミュニティ」活動活性化支援事業(平成25年度)

- (1) 企画会議にコミ協から委員を推薦、会議を重ねた。委員の意見から地域課題が明確になり、次の事業を実施することになった。
  - ①多世代交流ができる子ども向けの夏祭り
  - ②高齢者対象の連続講座
  - ③多世代交流・夏まつさかりフェスタ
- (2) 企画会議7回開催。愛称や祭りの内容まで決まったが、計画の詳細部分でコミ協の理解を得られず中止になった。
- (3) 高齢者対象：はつらつ塾  
企画会議をさらに重ねて、「健康で長生き」「認知症予防」が高齢者の関心事であるので目指す方向にした。
- ①事業のねらい シニアのための仲間づくりと健康づくり
- ②事業名：はつらつ教室「ちゅっ」と寄っけていけばーお茶でもなじらね

3 地域「コミュニティ」活動活性化支援事業(平成26年度)

2つの事業を実施した。

(1) 世代交流―夏まつさかりフェスタ  
「なまらおもっしえつけ」については、昨年度の中止の反省から、規模を縮小し屋内開催にした。家族連れの参加が多かった。

- ・紙芝居、腹話術、手品子どもヒップホップダンス、ビンゴゲーム、昔遊びなど

- (2) JS(ジュニア・シニア)はつらつクラブ  
高齢の男性をターゲットに、孫とペアで参加を促す。4回講座で73名の参加。

企画委員に高齢者が3名も出た。

- ・お抹茶体験、料理教室、風車作り、団結式

平成27年度はこれらの事業の継続をし、公民館主導ではなく、住民の力で運営していくことが目標である。

4 今後の「地域「コミュニティ」の推進」のために

- 住民の力を引き出し、支援することが公民館職員役割である。そのために時間をかけて本音で語り合える信頼関係を築きあげたい。自分に必要なことは、信頼関係を築くために日ごろのロビーワークを大切にす。
- (1) 信頼関係を築くために日ごろのロビーワークを大切にす。
  - (2) 会話・対話、議論のスキルを向上させる。
  - (3) あきらめない情熱と目配り、気配り、心配りの精神を持つ。
  - (4) 住民のふところに飛び込む勇気を持つこと。行動力を向上させ、感謝の気持ちを持つこと。
  - (5) 地域住民とともに学ぼうという謙虚な意識を持つこと。



# 実践記録シリーズ

212

## 土曜学習教室「七社塾」 ～地域の子どもを地域で育てる～

新発田市加治川地区公民館

### 【はじめに】

「七社塾」は、土曜学習のモデル事業として、27年度にスタートしたばかりの自主学習教室です。講師は「地域の先生」が務め、対象は、区内に各1校ずつある小学校の小学5年生～中学3年生です。保険料を除き、参加費は無料としています。



### 【事業のねらい】

家庭学習で苦勞している子どもたちや、発展的学習に取り組みたい子どもたちの学習を支援するもので、小中学生の生活習慣・学習習慣の改善、自主学習の力の育成により、確かな学力の定着・向上を図ることをねらいとしています。

### 【活動の様子】

毎週土曜日の午後、地区公民館を会場に実施し、小中学生が同じ教室で学習しています。申込者は41名で、各回20名程の参加があります。

取り組む学習は自分で決め、教科書やワークを用意することになっています。時間中は、集中して自主学習に取り組む、分からない部

分は手を挙げて講師に質問します。手が止まっている児童・生徒に講師から声をかけることもあり、講師と一緒に考えて答えを導き出しています。

### 【学校・地域との連携】

企画段階から、小中学校と情報交換を重ね、参加者募集時の説明会や、児童・生徒への学習内容の助言など連携を取りながら進めています。



講師には、地域の教員経験者、市内塾講師、近隣大学等の学生、市内高校の生徒に有償ボランティアとして依頼し、登録者は65名。当番制で、毎回10名程度の講師に協力をいただいています。

### 【参加者・講師の声】

●(参加者)「先生方はとても優しく、丁寧に教えてくれて、勉強がすごくはかどっています。」

●(講師)「知っている子ども達が勉強を頑張っている姿を見ることができて嬉しかったです。」

### 【今後について】

市内の他中学校区からも、「参加したい」との声が多数あり、土曜日の学習環境を求めている保護者・小中学生がいることが分かっています。市内他中学校区でも準備を進め、開設していきたいと考えています。

また、授業、部活動、アルバイトなどで忙しい中、多くの高校生や専門学生、大学生からも協力をいただいています。若いころから地域に関わる場として、また小中学生にとっても近い将来の目標として、若い講師の活躍に期待をしています。







個性満開・  
描く楽しさ♪

絵てがみサークル「すずかけ」

平成22年、公民館活動の絵てがみ教室からサークルとして発足して5年になりました。

会の名前「すずかけ」は月一回の活動の場「ふるさと学習館」に育っていた木からの命名です。

現在会員数は24名で、会員の個性を大切に指導して下さる本間信昭先生、雅子先生ご夫妻のもと「良く見て、特徴をとらえて、楽しく♪」をモットーに制作を続け、描いたハガキを知人に送ったり、町の文化祭や会独自の作品展示等で発表しています。



又、今年は「5周年記念展」を本間先生達のご尽力で開催することが出来ました。これからも楽しくのんびり描いていきたいと思っています。

阿賀町・  
絵てがみサークル「すずかけ」  
天野 フミ子 記

懐かしのエレキ  
サウンドをもつ一度

京ヶ瀬ベンチャーズ

テケテケテケテ・・・・と言えば、ザ・ベンチャーズ。昭和40年代日本中にエレキ(電気ギター)ブームを巻き起こした張本人。その影響を受けた阿賀野市京ヶ瀬地区の50歳代男性

4人でつくるバンド、京ヶ瀬ベンチャーズが活動しています。平成8年に京ヶ瀬小学校の行事に参加、演奏するため、一度限りの約束で20年ぶりに再結成されました。ところが、「メンバー同志で酒を飲むのが楽しみになり、気が変わってしまった・・・」と今も活動が続いています。

ベンチャーズのコピーバンドで、加山雄三や女性ポーカーをまじえたオールディーズナンバーなども得意としています。練習は不定期、ライブ前に2、3回ほど、京ヶ瀬公民館で練習しています。



阿賀野市・京ヶ瀬ベンチャーズ  
佐々木正孝 記

湯沢町教育委員会 教育課 生涯学習係

主事 小沼 香奈さん



昨年4月、遠路はるばる果樹王国山形県東根市から新人がやってきた。彼女の名前は小沼香奈、湯沢町職員で唯一の学芸員採用であり、資格保有者である。

そんな彼女は、現在文化財の担当はもちろんのこと、公民館利用者の対応や町文化祭の企画、図書室の担当と何でもこなす職員と成長しました。電話でも『小沼でございます。』と丁寧な受け答えをし、来客カウンターでもしっかり対応し動じることはありません。ただ、たまに声が優しすぎて、聞き返されることが玉にきず。

学生時代は弓道をたしなみ、今は琴を習おうか思案中。魚沼の雪深さに驚きつつ、山形や色々なこれまでの経験を活かし、湯沢町の文化の掘り起こしを行い文化の薫り高い町へきつと変えてくれるでしょう。

(湯沢町教育委員会 教育課生涯学習係 熊谷 健志 記)

糸魚川市田沢地区公民館

主事 小林由紀江さん



新設された糸魚川市田沢地区公民館のマドンナにして初代主事の小林由紀江さんを紹介します。

市町合併に伴い、市の青海地域(旧青海町)で4地区公民館が新設されました。その一つである田沢地区公民館では、開館2年目の事業を推進中ですが、旧公民館制度が50年近くも住民に定着していたため、旧公民館(現在は支館)との事業の住み分けや事業運営の協力関係の構築など時間をかけて取り組まなければならない問題が多くあります。

そんな中、2女1男を子育て中の小林さんは、高齢者向けの事業のみならず、小中学生や女性向けの事業に的確な世代目線で力を発揮しています。

「公民館に何時でも誰でも気軽に遊びに来てくれるようになったらいいな、新しい公民館ができて良かったと言われるようになりたい・・・」、仕事に家庭にフル回転の日々が続いています。

公民館に来ていただければ、柔らかな笑顔のマドンナに会えますよ。是非一度お出かけください！新設公民館へのアドバイスも期待しています！

(糸魚川市田沢地区公民館長 広川 亘 記)

素顔拝見

### information



来賓：左 呉井中越社教課長  
右 長谷川三条市教育長

#### 平成27年度中越地区館長・主事 公運審等研修会開催される

今年度の研修会が10月8日(木)、三条市中央公民館で開催されました。  
研修主題…絆と活力あるコミュニケーション形成の拠点としての公民館をめざして  
「むすぶ」役割を生かした公民館運営



参加者を飽きさせない熱い講演  
山井氏

1 講演 13:20~14:50  
目指すべき「真北」の方向とは  
講師 (株)スノーピーク社長 山井 太様

2 事例発表 15:10~16:00  
(1)「交流を核とした地域づくりを目指して」  
見附市上北谷公民館 野本 博也



三条市 阿部係長



見附市 野本主事

(2)「特色ある事業による絆・つながりの再構築」  
きっかけの1歩事業  
三条市中央公民館 阿部 修造

## お・元・気・で・す・か 「ハーモニカの音色を楽しむ」

樋口 良蔵 (加茂市)



私は毎月2回、公民館で、加茂市民、三条市民約10名の指導を楽しく続けております。団体名は、ハーモニカ同好会「雪椿ハーモニカ加茂」と呼びます。この会は、公民館主催の行事などに参加したり、また、各種団体の依頼により、ハーモニカの伴奏で、参加者全員がメロディを楽しく歌ったり、小生の独奏に耳

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

を傾けたりしています。  
さて、来たる11月1日(日)は、加茂市の「市民音楽祭」です。独奏は、「月の砂漠」と「ひばりの佐渡情話」で、私が演奏いたします。

「ホームスイート・ホーム(植生の宿)」は四部合奏ですが、会員数が少ないため二部合奏でメロディ演奏とバスハーモニカを使用し演奏しています。これらの練習で、常に気軽に公民館をお借りできることに、ありがたく感謝しますとともに、厚く御礼を申し上げる次第であります。

## 純国産クリーンエネルギー

ダムは、CO<sub>2</sub>を排出しないクリーンな電力を供給しています。  
また、都市住民の生活や農業・産業活動などに安定した水の供給を行い、集中豪雨等の災害時には住民の生命・財産を守る機能を果たすなど、国民の安心・安全にも役立っています。

新潟県ダム・発電関係市町村協議会  
会長 (阿賀町長) 神田 敏良

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内  
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

### 事務局長の「つぶやき」

あんなに暑かった夏が終わったと思ったらもう冬支度。季節の変わり目には特に健康に留意したいですね。  
鳥取市の全国大会に行ってきました。お土産話にでもと鳥取砂丘を視察？中、現地で静岡

の事務局さんとはったり遭遇。私と同世代の女性ながらパワー満開で遠くの、2kmくらい先に見えた、砂丘まで一気駆け。私は、入り口で「革靴だから」などという訳をしながらその場足踏みで終わりました。(田原)